

ヤマコン 政投銀 B C M 格付け取得

コンクリート圧送大手のヤマコン（山形市、佐藤隆彦社長）が日本政策投資銀行（政投銀）が実施している格付け融資制度のうち、「BCM（事業継続マネジメント）格付」の認定を取得した。防災や事業継続の取り組みが優れた企業を評価・選定し、優遇金利での資金調達などが可能になる。ヤマコンは政投銀の融資を活用し、ブーム延長が46坪に達する国内最大級のコンクリートポンプ車をドイツメーカーから購入する。

BCM格付け融資は、政投銀がそろえているサステナビリティ評価融資メニューの一つ。大規模災害など危機的な状況に

超大型コンクリートポンプ車購入資金に充当



認定証を受け取る佐藤社長（右）

直面しても従業員の生命を守りつつ、事業が継続できるかどうかを総合的に評価する。

政投銀は「経営陣を含めた全従業員がBCMの重要性を理解している」ことを高く評価。社

長をトップにしたBCM推進会議を毎月開くなどして防災や事業継続の取り組みをブラッシュアップしている点なども、格付け取得のポイントになった。BCM格付けの認定取得企業は2022年3月時点で全国421社、東北エリアでは12社。コンクリート圧送業界で認定を取得したのはヤマコンが初めてになる。

融資は6月に実行済み。超大型のコンクリートポンプ車を広範囲や地下へのコンクリート打設などに活用し、生産性の向上や作業員の安全確保などにつなげる。納車は8月下旬を予定している。